



西有家中No3

令和5年 6月1日
南島原市立西有家中学校
校長 本多 洋二

令和5年度体育大会終了

去る5月21日、絶好の体育大会日和の中、令和5年度の体育大会を開催することができました。練習期間の中では、雨もあり、限られた練習場所と練習期間でしたが、生徒たちは、工夫しながら練習に取り組んでいました。当日は、大きな怪我もなく、予定していた全種目を実施することができました。また、保護者並びにご家族の方々、そしてご来賓の皆様方には早朝から御観覧いただき、生徒たちに熱い応援を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

生徒たちは、「一致団結～向上・友情・成長～」のスローガンのもと、最高の体育大会にしたいという思いを重ねながら取り組み、よく頑張りました。運動が得意、苦手は関係なく一生懸命に取り組むその姿は、とても感動的でした。各ブロック内では、色々と衝突することもあり、ギクシャクした関係になったこともあったと聞いていますが、それを乗り越え、学級が、学年が、学校がまとまっていくのを目の当たりにし、生徒たちの可能性と成長を感じることができた体育大会でした。

これからは、体育大会での頑張りを学校生活で発揮し、学級皆で助け合える、支え合える学級になることを信じています。



＜堂々と入場行進する生徒会長＞



堂々とした力強い選手宣誓を行う藤田保体部委員長。格好良かった！

6月の主な行事

- 5日（月） 内科検診（2年）
- 6日（火） 内科検診（3年）
- 7日（水） 中総体選手激励式
部活動写真撮影（アルバム用）
- 8日（木） 生徒総会
- 9日（金） 内科検診（1年）
- 11日（日） 中総体球技・武道大会
- 12日（月） //
- 13日（火） 振替休日
- 14日（水） 歯科検診（2-2、3年）
- 20日（火） 市中総体陸上大会
- 24日（土）～部活動停止（～29日まで）
- 28日（水）～30日（金） 期末テスト



力の限り走る3年生！一生懸命な姿に感動！



ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

「鈍感力」

直木賞作家である渡辺淳一さんがエッセーとして書いた小説に「鈍感力」というものがあります。この鈍感力について少し考えを述べてみたいと思います。

子どもの社会は、大人社会の映し鏡ですので「キレル」子どもや、ちょっとしたことで傷つく子どももいます。風邪や嘔吐、下痢やインフルエンザなど、時期を問わず流行する場合がありますが、全員が罹患するわけではありません。免疫力が高ければ罹らないですみます。

心も同じで、「耐性」や「免疫力」が高まれば、少々のことであってもストレスを感じることなく、楽しい毎日を過ごすことができます。

この「心の耐性」や「心の免疫力」を高めるものが「鈍感力」ではないでしょうか。どうやってこの「鈍感力」を身に付けさせるかが大切です。

雨の強い日に、洋服を濡らしながら、また、靴の中にも雨水が入り、濡らしながら登下校することは、本当に気持ち悪いことです。しかしながら、心地よい状態にばかり身を置かせていても、耐性は育ちません。

社会生活の中では、保護者の皆さんご存知のとおり、心地よい状態でない場合が多いのが現実です。

学校生活の中では、集団生活をしている以上、様々なトラブルが発生します。けんかもあるし、嫌なこともあります。傷つけたり、傷ついたりしながら、子どもは大きくなっていきます。この体験は、必要なことですし、トラブルの解決過程が将来のための重要な学習の場になります。

こういうときに大切なことは、**まず子どもの話をじっくり聞いてあげることで親が過敏に反応しないことです。**よく聞いてあげた上で、「そう嫌だったね」と気持ちを理解してあげ、最後は、「まあ、そういうこともある」という感じで、大騒ぎしないことです。

もちろんケースによったら、そのままにしておけないケースもあります。

つまり、子どもに安心感をもたせるとともに、少々ことは大丈夫という大らかさを身に付けさせることが、いい意味での「鈍感力」を育てることになると考えています。

様々な体験が、経験となり、心の免疫力を高めることになります。無菌状態にすることは、かえって免疫力を低下させることになりますから、子どもが乗り越えられるほどのハードルは必要だと思っています。乗り越えられないときは、乗り越えられる程度までハードルを下げてやるのが大切で、大人がすべて解決してしまったり、トラブル発生を全部取り除いたりすることは、望ましくありません。もちろん例外はあります。

このように、西有家中生には、「心の免疫力」の高い、たくましい生徒になってほしいと思っています。